



チャレンジを大切にする学校

令和7年10月31日(金)

別所小だより

11月号

八王子市立別所小学校

本校ホームページアドレス <https://hachioji-school.ed.jp/besse>
教育目標：『自分をのびします』『心をみがきます』『元気にすごします』

校長 川村 守

先日の運動会では、たくさんのご声援をいただきありがとうございます。ございました。また、運動会後には心温まるご感想をたくさん いただき心より感謝申し上げます。さっそく全校朝会で紹介 しましたところ、子どもたちはとても喜んでおりました。きっと大きな励みとなったことと思います。運動会という行事を通して自らの生き方を磨いたり、仲間との関わり方を深めたりした子どもたち。この経験を生かして、次なるチャレンジをしていってほしいと期待しているところです。なお、運動会特集は後頁にありますので、余韻を楽しんでいただければ幸いです。

言葉と共に生きる

校長 川村 守

先日、若い教員から“ ガンダ ”という最近の中・高校生たちが使っているという若者言葉なるものを教えてもらいました。“ ガンガンダッシュ ”の略語で“ ものすごく急いで行く(する) ”という意味で使われるようです。暗号遊びのような面白さを感じながら、日本語離れた造語の奇抜さに衝撃を受けました。 これも一つの若者文化として受け止めつつも、日本語の未来が少し心配になった私です。

言霊^{ことば}の幸わう国 言霊^{ことば}の扶くる国 (万葉集)

やまと歌は 人の心を種として よろずの言^{こと}の葉^はとぞ なれりける (古今和歌集)

この国では“ 言葉 ”に力が宿ると信じられ、言葉を大切にすることで幸せにもなれると考えられていたようです。また、言葉が人の心から生まれ、受け取った人の心に種として蒔かれるものだという先人たちの捉え方には驚かされます。千年以上の時を越えて・・・言葉の大切さについて、あらためて気づかされる思いです。

言葉は単なる伝達手段にとどまらず、私たちの心を豊かにする文化としても発展してきました。また、言葉は私たちの思考や認識を深め、他者と価値観を共有させながら高度な社会の形成に重要な役割を果たしてきました。いわば人類の財産とも言うべき言葉(言語)ですが、SNS時代の現代にあっては、新しい俗語や略語が日々生まれ、私たちの言語環境が急激に変化しています。また、言葉本来のもつ意味が薄れて使用される傾向や言葉づかいの乱れ、言葉の定型化など日本語の劣化や言葉の信用度の低下を危惧する声も高まっています。

本校では、言葉を大切にする教育活動として、語彙量を増やす「詩の暗唱」、豊かな読みを育む「読書活動」、自分の考えを書かせる「思考の可視化」、言葉による表現力を高める「伝え合い・学び合いの授業」などに取り組んでいます。また、読み聞かせボランティアの皆様にもご協力をいただきながら、学校・家庭が連携しながら言語環境の向上を図っているところです。今後も継続していくことで、子どもたちの豊かな言語感覚の定着を目指していきたいと考えています。



古今和歌集にある「人の心を種として…」という先人の考えからは「言葉は人の心から生まれる。だからこそ、心が変わると言葉も変わるし、言葉が変わると心も変わっていくものである」というメッセージも込められている気がします。心が変われば生き方も変わるわけですから、やはり言葉にはそれだけの力があると言えそうです。これからは、私たちは言葉と共に生きていくこととなります。日本語は様々な情景や感情を繊細に表現できる美しい言語です。子どもたちには、先人たちが大事にしてきた“ 言葉 ”という文化を大切に受け継ぐとともに、自分の言葉に責任をもちながら、言葉(心)豊かに生きていってほしいと思っています。

運動会 『最後まで楽しく笑って絆を深めよう!』

「チャレンジを大切にする学校」を掲げる本校では、自分の可能性に果敢に挑戦し、自分を高める努力の成果を発揮する場として運動会に取り組んでいます。そして今年度も、子どもたちの思い、教師の思い、そして保護者の皆様の思いが様々に織りなされて形づくられた素晴らしい運動会となりました。運動会に際しまして、地域の皆様や保護者の皆様にお力添えをいただきましたこと、心から感謝申し上げます。また、運動会アンケートには、心温まるお言葉を数多くいただき、子どもたちや教職員の大きな励みとなりました。今後も、学校と家庭そして地域が連携しながら、子どもたちのチャレンジを一緒に支えていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

保護者感想の紹介朝会

保護者感想(一部抜粋) ～ 心温まるご感想ありがとうございました! ～



- ◆インフルエンザの学級閉鎖があったなかで、よくやり切ったな…と感動だらけの運動会でした。子どもたちの頑張りはものすごいなと思いました。
- ◆皆で一つのことを作り上げたというチャレンジの姿勢が見て取れました。勝っても負けても互いに拍手で讃えており、相手を尊重した気持ちが育まれていると感じました。
- ◆一言でまとめれば「本当に素晴らしい運動会でした!」…子どもたちに“ありがとう”の気持ちでいっぱいです。
- ◆ウルウルと涙が出そうになりました。どの学年も最後まであきらめなくて走り切り、高学年の子どもたちは自分の役割をしっかりと果たしていて、子供の成長を感じることができました。
- ◆下級生は上級生に習い、上級生は下級生を気にかけていて、皆で協力しあっている姿から、別所小の強さを感じました。
- ◆子どもそれぞれが頑張る姿を見て、こちらも元気をもらったような、晴れ晴れとした素晴らしい運動会でした!

おおぞら学級 宿泊体験学習

10月2日(木)・3日(金)の2日間、相模原市にある「ふるさと自然体験教室 やませみ」に行ってきました。前日までの雨で多少の変更はありましたが、全行程を実施することができました。

ストーンペインティングでは、やませみの近くを流れる川でお気に入りの石を見つけ、形を生かしながらオリジナルの作品をつくりました。

さつまいも掘り体験では、畑に着くまでの道中でさまざまな種類の植物や作物を観察することができました。今年は豊作だったようで、掘ったさつまいもは子どもたちの顔ほどの大きさがあり、感嘆の声があがりました。

キャンプファイヤーでは、踊ったりゲームをしたり、全員で火を囲みながら、楽しく穏やかな時間を過ごしました。

初めてのことはばかりでしたが、おおぞら学級全員で声をかけ合い、協力し、より一層仲を深めることができた宿泊体験学習となりました。

保護者の皆さま、お見送りやお迎え、荷物の準備等、さまざまな場面で子どもたちを支えていただき、ありがとうございました。



ストーンペインティング



さつまいも掘り体験



パラバルーン



キャンプファイヤー

副籍交流について



小学校学習指導要領では、特別支援学校に通う子どもとの“交流及び共同学習”の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むこととされており、東京都には、このような交流及び共同学習を行うために、副籍制度があります。また、八王子市でも「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」があることから、本校では、東京都立多摩桜の丘学園に在籍する子どもとの副籍交流に取り組んでいます。同じ地域に住む子ども同士が交流を通して相互理解を図り、互いに支え合いながら共に暮らす地域社会の実現をめざし、学校行事や授業に参加してもらう直接交流や、学校だより・学年だより等のおたよりを交換する間接交流を行っています。これからも、副籍交流を進めてまいります。

八王子こども屋台選手権

今年度で7回目を迎える『八王子こども屋台選手権』に、本校の5年生の5人組（チーム名：別所5 ミラクルチャレンジ）が出場しました。八王子産のショウガを使ったメニュー “ はちおう ジンジャーハニードック ” を考案し、試作・改良の末に完成をさせて、本番に挑みました。当日は、行列ができるほどの大盛況！ そして、初出場ながら第3位を獲得する快挙を達成しました！ そのナイスチャレンジと大健闘を全校朝会にて、みんなで喜び合いました。



SC:スクールカウンセラー来校 放:放課後子ども教室

日	曜	朝の学習	行事予定
1	土		サタデースクール
2	日		
3	月		文化の日
4	火		町たんけん①(2) 起震車(4) 委員会⑦
5	水	朝読書	安全指導 ALT 事前検診(5)
6	木		町たんけん①(2) 移動教室(5)
7	金	朝学習	移動教室(5)
8	土		
9	日		
10	月	児童朝会	遠足予備日(1・2)
11	火		避難訓練(二次) クラブ⑦
12	水	朝読書	
13	木	集会⑫	保護者相談日⑥
14	金	朝学習	補習⑦
15	土		道徳地区公開講座 特別支援学級授業公開③
16	日		
17	月		振替休日
18	火		クラブ⑧
19	水	朝読書	たてわり班⑤給食
20	木	集会⑬	消防署見学(3)
21	金	朝学習	おおぞら6組は5時間授業
22	土		
23	日		勤労感謝の日
24	月		振替休日
25	火		保護者会(4・5・6・お)
26	水	朝読書	
27	木	集会⑭	原爆先生(6) 就学時検診
28	金	朝学習	保護者会(1・2・3)
29	土		
30	日		

不登校をテーマとした保護者サロン（八王子市教育委員会からのお知らせ）

教育委員会では、不登校の子どもたちを支援するために、保護者対象の講演会を実施しています。講演の中で小グループに分かれ、参加者の皆さん同士で日頃感じている思いや悩みを語り合う時間も予定しています。どうぞお気軽にご参加ください。

1. 対 象 市内在住で小・中学生の保護者
2. 日 時 令和7年11月25日（火）午後2時から午後4時30分
3. 会 場 教育センター 大会議室
4. 内 容 講演『不登校の子どもたちの再登校を考える』
講師：八王子市教育委員会教育指導課 心理相談員
5. 定 員 60名（先着順）
6. 申込み 11月1日（土）午前8時30分から受付開始
7. お問い合わせ 高尾山学園内 教育指導課登校支援担当（電話：663-3216）へお電話で